

**省エネ基準適否 チェックリスト ver.2.3** 作成者: 建築 次郎 記入日: R6 年 8 月 1 日

物件名: 熊本 太郎 邸 新築工事

地域の区分: 4地域 5~7地域

建設地: 熊本県 都道府県 熊本市 市区町村

**1 断熱材の熱抵抗R** (p.8-13)

断熱する部位と採用する断熱工法によって基準値が異なります。  
 断熱する部位とその部位の断熱工法をチェックし、「断熱材の製品名と厚さ」及び「熱抵抗 R」を記入のうえ、基準適否を確認してください。  
 1つの部位で複数の断熱工法を採用する場合は、それぞれの工法ごとに基準値を満たす必要があります。  
 1つの部位に複数の仕様が異なる場合は、性能が低い仕様（熱抵抗 R が小さい方）について記入してください。

部位	断熱工法の基準値	断熱材の製品名と厚さ	熱抵抗 R (m <sup>2</sup> ・K/W)	適否確認	
				基準値に達している	不達
屋根	軸組充填: R ≧ 4.6	製品名 (又は断熱材の種類) 高性能グラスウール14k	厚さ mm R	■	□
	枠組充填: R ≧ 4.6				
	外 張: R ≧ 4.0				
天井	軸組充填: R ≧ 4.0	製品名 (又は断熱材の種類)	厚さ mm R	■	□
	枠組充填: R ≧ 4.0				
	外 張: R ≧ 4.0				
壁	軸組充填: R ≧ 2.2	製品名 (又は断熱材の種類) 高性能グラスウール14k	厚さ mm R	■	□
	枠組充填: R ≧ 2.3				
	外 張: R ≧ 1.7				
床 (外気に接する部分)	該当なし	製品名 (又は断熱材の種類)	厚さ mm R	■	□
	軸組充填: R ≧ 3.3				
	枠組充填: R ≧ 3.1				
床 (その他の部分)	該当なし	製品名 (又は断熱材の種類)	厚さ mm R	■	□
	軸組充填: R ≧ 2.2				
	枠組充填: R ≧ 2.0				
基礎壁 (土間床等の外周部分)	該当なし	製品名 (又は断熱材の種類) 押出法ポリエチレンフォーム 3種bA	厚さ mm R	■	□
	軸組充填: R ≧ 1.7				
	枠組充填: R ≧ 1.7				
基礎壁 (その他の部分)	該当なし	製品名 (又は断熱材の種類)	厚さ mm R	■	□
	軸組充填: R ≧ 0.5				
	枠組充填: R ≧ 0.5				

\*玄関、勝手口等の土間床部分の断熱を省略する場合には、当該部分を除く基礎壁について確認してください

**2 開口部 (窓、ドア) の熱貫流率Uと日射遮蔽対策** (p.14-15)

地域の区分によって基準値が異なります。  
 ①「製品名」及び「窓又はドアの熱貫流率U」「窓の日射熱取得率η」を記入のうえ、基準適否を確認してください。  
 ②複数の仕様がある場合は、熱貫流率Uについては性能が低い仕様（熱貫流率Uが大い方）、日射遮蔽対策については、窓の日射熱取得率ηが大い仕様を記入してください。  
 ③5~7地域において該当する窓がない場合は、「該当部位なし」にチェックをしてください。

部位	基準値		製品名	窓又はドアの熱貫流率U (W/m <sup>2</sup> ・K)	窓の日射熱取得率η [-]	適否確認	
	熱貫流率U	日射遮蔽対策				基準値に達している	不達
窓	4地域 U ≦ 3.5	有効なひびき軒等がある所に設置する窓	製品名 (又は建具とガラスの種類) ■ 該当なし	U	η	■	□
	5~7地域 U ≦ 4.7	有効なひびき軒等がない所に設置する窓 η ≦ 0.59	製品名 (又は建具とガラスの種類) □ 該当なし 【建具】金属製建具 【ガラス】LOWE 二重複層ガラスA6・日	4.1	0.51	□	■
ドア	4地域 U ≦ 3.5		製品名 (又は建具とガラスの種類)	U			
	5~7地域 U ≦ 4.7		【枠】金属製 【戸】金属製フラッシュ構造 二重複層	2.9		■	□

**3 設備機器の仕様** (p.16-17)

注: 下記に記載のない設備機器 (床暖房など) を設置する場合、このチェックリストは使用できません。この場合、省エネルギー消費計算プログラムにより設置の適否を確認してください。(省エネ適合性判定)  
 ○ 暖冷房設備は、暖冷房する範囲を選択したのち、各々についていずれかを選択してください。  
 ○ 暖冷房設備を設置しない場合は、「設置しない」にチェックをしてください。

暖冷房設備 (有記のいずれかを記載)

○ 住戸全体を暖冷房 → □ ダクト式セントラル空調機で、ヒートポンプを熱源とするもの

● 居室のみを暖冷房

暖房と冷房の両方について以下のいずれかを選択

暖房

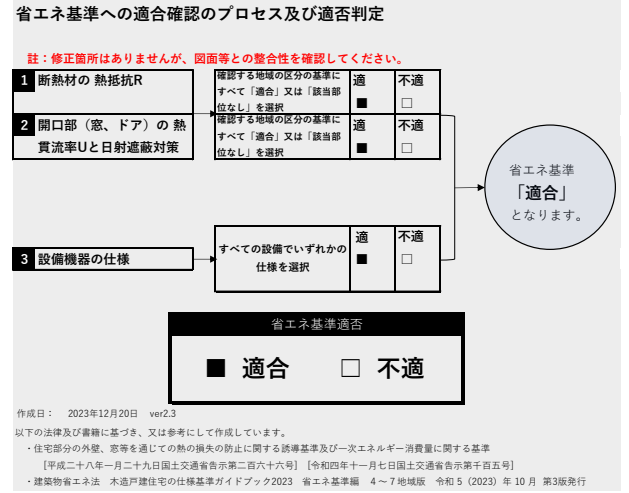
- パネラジェーターで以下のいずれかを熱源とし、かつ配管に断熱被覆があるもの
  - ①~③のいずれかを選択
    - ①石油潜熱回収型温水暖房機 (エコフィール) の熱効率87.8%以上のもの
    - ②ガス潜熱回収型温水暖房機 (エコジョーズ) の熱効率82.5%以上のもの
    - ③電気ヒートポンプ温水暖房機 (フロン系冷媒に属する)
- ルームエアコンディショナーで、エネルギー消費効率の区分が (イ)又は(ろ)のもの

冷房

- FF暖房機の熱効率96.0%以上のもの(4地域に限る)
- ルームエアコンディショナーで、エネルギー消費効率の区分が (イ)又は(ろ)のもの

○ 設置しない

換気設備 (有記のいずれかを記載)	以下のいずれかの設備機器であること ○ 比消費電力が0.3m <sup>3</sup> /h以下の換気設備 ○ ダクト式第一種換気設備(熱交換なし)で、ダクト内径が75mm以上で、かつDCモーター(直流)のもの ○ ダクト式第二種又は第三種換気設備で、ダクト内径が75mm以上のもの ○ 壁付け式第二種又は第三種換気設備のもの
給湯設備 (有記のいずれかを記載)	○ 石油潜熱回収型給湯機【エコフィール】のモード熱効率 77.8%以上のもの ○ ガス潜熱回収型給湯機【エコジョーズ】のモード熱効率 78.2%以上のもの ● 電気ヒートポンプ給湯機【エコキュート】
照明設備	■ 非居室の全ての照明に、LED又は蛍光灯を設置している



作成日: 2023年12月20日 ver.2.3  
 以下の法律及び書籍に基づき、又は参考にして作成しています。  
 ・住宅部分の外壁、窓等を通じての熱の損失の防止に関する誘導基準及び一次エネルギー消費量に関する基準  
 [平成二十八年一月二十九日国土交通省告示第百二十六号] [令和四年十一月七日国土交通省告示第千五百五号]  
 ・建築物省エネ法 木造戸建住宅の仕様基準ガイドブック2023 省エネ基準編 4~7地域版 令和5(2023)年10月 第3版発行